

上小っ子 校長室だより

2023年7月7日 発行

—校長から保護者の皆様へのメッセージです—

上郡町立上郡小学校 校長 森中 誠

蒸し暑い梅雨が続いています。ただ、梅雨の様相も年々変わりつつあると感じます。降るときはものすごい勢いで降ったり、梅雨時期の晴れ間は、真夏のような猛暑になったり、教育活動を行うにも心配事が多い梅雨の期間です。また、コロナが第5類になったとはいえ、まだまだ感染は広がりつつあり、それに加えて小さいお子さんを中心に病気がはやっていきます。RSウイルス感染症、手足口病、溶連菌咽頭炎、ヘルパンギーナなどなどネットで調べると熱中症も含めるとざっと18種類も出てきました。規則正しい食事、運動、睡眠で抵抗力を落とさないよう気をつけていただきたいと思います。



さて先日、全校朝会で児童にこんな話をしました。

『学校では、君たちの夢を叶えるためにいろいろな力をつけていってほしいです。学力もその一つです。では、友達を増やす力、自分を助けてくれる人を増やす力とは、どんな力だと思いますか。それは、「想像力」です。想像力とはどんな力かということ、「目に見えないものを思い浮かべる力」です。未来は見えないので、未来を想像するとか言いますね。ではなぜ、この想像力が友達を増やしたり、自分を助けてくれる人を増やすのかをお話します。学校生活で周りのお友達と一緒にいる中で、「こんなことをしてあげたら助かるかな。こんな声をかけてあげたら喜ぶかな」と想像して行動するのはです。また、お友達とけんかをすることもあるでしょう。強い言い方をしたり、相手が傷つく言葉を言ってしまったり、手が出してしまうこともあるかもしれません。でも、そのあとで相手の気持ちを想像するのは。もし、自分が言われたら、されたらと想像するのは。そうすると、言い過ぎたなどが自分がされたら嫌だなと感じて謝ろうという気持ちが起こってきます。仲直りができます。目に見えない相手の心を想像することで、あなた自身の行動が変わり、友達とどんどん仲良くなり、周りの人も、あなたが困ったときに助けてくれます。ちなみに「想像」の「想」は「相」手の「心」を「想」うと書きます。想像力でみんな仲良く生活してほしいです。』

この「想像力」は、本年度の教育目標のテーマである「自立と自律」を育てることにもつながります。今の世の中のいろいろな問題は、想像力が不足していることから起こることが多いです。例えば、一時期世間で問題となった迷惑動画はその最たるものです。そのお店にどのような迷惑がかかるか、また、それがわかった後自分にどんな責任が問われるのかが想像できずに行動しています。あの行動の代償は大変大きいものです。



想像力を鍛えれば、自律心や自立心が育ちます。児童に話をしたように相手の気持ちを少し想像すれば自分の行動が変わってきます。ちょっとした気配り、いい意味でのお節介があることでみんなが気持ちよく生活できるのです。まあ、想像しすぎると、逆に自分を後回しにしすぎて行動しにくくなったり、過度のお節介で迷惑がられたりするの大人でもよくあるので、気をつけたいところですが。



学校生活や教育活動の中で子どもたちが、そのような優しい心が生まれる「想像力」を鍛えていってほしいなあと思います。